

「IgG4 関連自己免疫性肝炎・hepatopathy 全国調査」へのご協力をお願い

IgG4 関連疾患は、病因がまだ分かっていない極めて稀な全身性の疾患です。肝胆道系の IgG4 関連疾患として、IgG4 関連硬化性胆管炎、及び IgG4 関連自己免疫性肝炎、IgG4-hepatopathy が知られています。いずれも極めて稀な疾患であり、全国調査により日本における疾患の実態が明らかとなることは、診断や治療に大きく貢献するとともに、これらの病気の病因解明が進むものと期待されます。

本研究は、帝京大学医学部内科学講座が代表として、難治性疾患政策研究班疫学班と協働して実施しており、京都医療センター消化器内科においても、その趣旨に賛同し、本調査に協力いたします。

対象者：当院にて

①IgG4 関連硬化性胆管炎にて肝生検を行った患者さん

②IgG4-AIH が存在する」と報告された症例

調査内容：肝生検組織標本の提供、カルテからの臨床経過情報

研究期間：2021 年 12 月 31 日まで

当科から提供するデータには氏名や住所、カルテ番号など個人を特定できる情報は含んでおりません。また、個人情報の保護・管理は厳重に行われ、研究の結果が学会や学術誌に発表される場合でも個人の特定が可能な情報が載せられることはありません。

本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。

この調査協力に対して、「調査に利用されたくない」とお考えの方は、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記までご連絡下さい。

皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1

国立病院機構京都医療センター消化器内科

診療部長 勝島 慎二

電話：075-641-9161（代表）